



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

ついに飛躍の年へ「ステップ」

会長 梶 記代美

皆さん、新年あけましておめで
とうございます。
今年も連絡会活動へのご理解・
ご協力をよろしくお願いいたしま
す。

令和5(2023)年は、卯(う
さぎ)年です。皆さんは、「うさぎ」
にどんなイメージをお持ちです
か。ぴよんぴよん跳びはねる、飛
躍のイメージがいいですね。

連絡会は、ボランティアをはじ
め、地域やさまざまな方たちとの
関わりを大切に、「ホップ！ステッ
プ！ジャンプ！」の3年計画で取
り組んでいます。昨年は、まずは
やってみよう！ということで「ホ
ップ！」の年でした。

今年も、さらに進んで、「ステッ
プ！」の年にしたいと考えていま
す。いつ収束するかわからないコ
ロナ禍ですが、縮こまってばかり
はいられません。

「守株待兔(しゅしゅたいと)」
という故事成語があります。
「株を守りて兔を待つ」という

登録ボランティアのみならずへ ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに
所属している人は
グループリーダーへ活動の継続・
休会・退会のいずれかを連絡して
ください。確認後、必要がある人には
センター事務所から問い合わせを
する場合があります。登録内容に変
更がある場合は、センター事務所に
申請書を提出してください。

個人で登録した

ボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を
行いますので、2月15日(水)まで
に返送をお願いします。

「なかま」を配布している人には
活動確認を行いませんので、休会や

登録抹消の意向がある場合は、その
旨をセンター事務所へ連絡して
ください。

ボランティア活動保険

ボランティアセンターへの依頼
に対し、ボランティア活動をする
と確認された時点で保険加入の手
続きを行います。活動を始められ
る際はセンター事務所までご連絡
ください。

※また、活動していただくにあ
たって、センター事務所へ依頼書
と活動報告を提出していただく必
要があります。
詳細はセンター事務所へお問い
合わせください。

ボランティアサロン

「ボランティア団体登録説明会」

ボランティアセンターではボラン
ティアグループの活動や他グループとの
交流の支援を行っています。市内でボ
ランティア活動をされている皆さん、
この機会に団体登録をしませんか？

とき：4月12日(水)午後1時30分
～3時30分

内容：ボランティアセンター登録団体

活動紹介・センター登録説明・
ボランティアグループ連絡会
より登録案内

ところ：ボランティアセンター2階
活動室

定員：20名(各団体2名まで)

事前申込制

申し込み：ボランティアセンター

☎072-894-3737

FAX072-891-3340

リーダー会議からのお知らせ

【12月20日】

☆会長挨拶

・年末年始に向けての挨拶

☆連絡会より

・ボランティアグループ交流会につ
いて

・連絡会創立30周年行事について

12/13 実行委員会実施 次回 4

／26(水)開催

・連絡会助成金会計研修について

2月21日(火)と28日(火)開催

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・令和4年度ボランティア表彰につ
いて

・連絡会HP更新 本日締め切り

・ボランティア登録継続意思確認に
ついて

・ひきこもり研修 1月24日(火)

14時～16時 多目的ホール

【10月25日】

☆会長挨拶

・10/23 交野いきいきマルシェに参加
した「糸ぐるま」のお手伝いのお礼

☆連絡会より

・健康福祉フェスティバルについて

・連絡会創立30周年行事について

実行委員会名本日提出

・ボランティアグループ交流会につ
いて 1月10日10時

・連絡会の Gmail について

☆各グループより 現況報告

☆Vセンターから

・窓の施錠について

・連絡会HP更新 12月20日締め
切り

・ICTアンケートについて

・グループメンバーの登録内容の変
更について

次回リーダー会議は2月28日(火)

▼年明けは、何か新しい息
吹を感じるものですが。み
なさんにとってはどうで
しょうか。▼昨年はコロナ
禍に加え、2月に勃発したロシアの
ウクライナ侵攻、エネルギー問題、地
球温暖化による異常気象、食料、物価
高、貧困問題等々が国や地域を超え
た世界的な規模に拡大。まさに人類
の生存にも関わる難問といえよう。

▼いずれも解決への糸口が見出せな
いままである。人類の叡智で少しで
も光が指す卯年であってほしいと願
わずにはられない。(K)



なかま次号発行予定

令和5年4月3日(月)



もう一つは、偶然の
幸運を当てにする愚か
さ。少しずつでも前に
跳んでいく、という気
持ちは忘れずにいた
いものです。
今年も、皆さんにとってよい一
年になりますように。また、そこ
にボランティア活動がうまく関わ
れますように。

ボラ連発足30周年記念行事にむけて 実行委員会で検討スタート

昭和52(1977)年に「交野
市ボランティア協会」として発足
した活動を、平成6(1994)
年に「交野市ボランティアグル
ープ連絡会」と改めてから、30年を
迎えるようとしています。

この節目の年を迎えるにあた
り、「30周年記念実行委員会」を立
ち上げ、12月13日に第1回の会
合を開催しました。各グループか
ら選出された実行委員の皆さん
と、連絡会本部役員で構成してい
ます。

具体的な内容については、今後
実行委員会を中心に考えていきま

す。皆さんのご協力をよろしくお
願いいたします。

ボランティアセンターが 美しくなりました

12月14日に外壁工事が
終わり、装いも新たになった
ボランティアセンター(写真)
大切に使用していきます。





点字の単位と仕組みに
聞き入る4年生の児童たち

11月18日、藤が尾小学校4年生の福祉学習の一環で、点字学習について、2クラス延べ38人の児童と一緒に学ぶ機会を得ましたので、社協の方と虹の会のメンバーで訪問しました。点字の成り立ちや構成についてなど、初歩的な話から点字の読み方、書き方を体験してもらいました。限られた時間のなかで、子どもたちの理解が得られたのか不安が残りましたが、学習後の感想を聞くと・・・。「最初は大変だと思ったが楽しくできた」「目が見えないのに点字を読める人は素晴らしいと思った」「難しいけれど、点字学びたい」「点字をもっと多くの人に知ってほしい」「文具や日用品

藤が尾小学校へ点字学習に点訳「虹の会」が訪問 児童の声 大変だけど楽しくできた

にも点字があるのを発見した」「家族にも点字のことを話したい」などの感想が聞かれ、ほっとしました。一週間後には、児童たちから感想文が届き、多くの児童が点字に興味を示してくれていました。なかには機会があれば学びたいとの意見もあり、点字の拡がりをちよっぴり感じました。(I)

朗読グループ「あい」

交野みらい小学校で アイマスク体験



11月17・24日、交野みらい小学校4年生のアイマスク体験に社協の方と「あい」のメンバーでお手伝いに行きました。アイマスク体験（手引き・歩行・イスに座る・アイマスクをして歩くのはこわかったという子も）、点字ブロック、ユニバーサルデザインの説明、視覚障がい者

介護衣料「糸ぐるま」 交野おいひめマルシェに出店

10月23日、交野いきいきランドで「交野おいひめマルシェ」に介護衣料手作り「糸ぐるま」として介護衣料や手作り品を出店しました。暑いくらいの天候のなかで糸ぐるまメンバー16人、ボランティアグループ連絡会から20人の応援を得ました。

大勢の方々に来場いただき、介護衣料に関心を持って頂きました。その他テレビの取材、写真撮影など「糸ぐるま」を知っていただく機会となり、出店は成功裡に終わりました。

でも「ボランティアセンター」を知らない方もおられ、もっとセンターを周知する必要を感じました。(H)



大勢の来場者で賑わうブース

「糸ぐるま」よりマルシェでバザー売上金から、連絡会に寄付金(1万2千円)をいただきました。ありがとうございました。



アイマスク体験中の児童

健康福祉の啓発 パネル展示

11月8日からゆうゆうセンター・フレンドタウン交野・青年の家の3カ所で健康福祉フェスティバルに代わるパネル展示で連絡会の活動紹介をしました。



各会場での展示に際し、パネル周辺の飾り付けを連絡会で行いました。パネル展示を通してボランティアグループ連絡会の存在が市民のみなさんに少しは浸透できたのではないかと思います。

受賞おめでとうございます

長きにわたり、社会福祉活動にご尽力いただきました和久田純子さん・笹岡武子さんのお二人がボランティア表彰(個人)を受賞されました。



和久田純子さん
(子育て広場：アリス)

ボランティア功労者
厚生労働大臣表彰



笹岡武子さん
(点訳：虹の会)

大阪府社会福祉
ボランティア知事表彰



点字カレンダーを進呈します

ボランティアグループ点訳「虹の会」が令和5年版点字カレンダー(壁掛け用・卓上型)を作りました。希望者に無料で進呈します。

問い合わせ ボランティアセンター

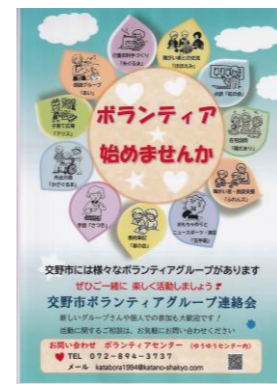
☎ 072-894-3737

Fax 072-891-3340

ボランティア始めませんか

コロナ禍でも、各グループで工夫しながら、元気に活動を続けています。そんな私たちのことを知ってもらい、一緒に活動していただける仲間募集のポスターを作りました。

広報板や会員宅などに貼って、多くの方に関心を持っていただければと思います。



広報紙研修

ターゲットを定めて

広報紙の三大要素とは、①読みたくなる。②見やすい。③わかりやすいこと。講師は出版社ペンの増田ゆきみさん。読者は誰か、つまりはターゲットを定めることが一番大事であると。現在スマホから多くの情報を得る読者はスマホ的表現パターンが支配しているとのこと。そうであるなら見出しは大きめの黒文字と少ない文字数でも十分とのこと。最近の広報紙

では写真も多用されるのが流行っているそうです。細かい技術的なことも大切ですが、誰に読んでももらいたいのか、何を伝えたいかをしっかりと踏まえて広報紙を作り上げることが一番肝要であることを学びました。(B)



12/14ボランティアセンターで各校区福祉委員会、ボラ連(なかま)のメンバーが受講